

井川町教育委員会 8 月定例会会議録

1. 日時 令和 6 年 8 月 27 日（火）午前 9 時 20 分～午前 11 時 20 分

2. 場所 井川義務教育学校

3. 出席委員

教育長	六郷博志
委員	小武海文恵
委員	遠藤勇人
委員	佐藤聡子
委員	齋藤正仁

4. 会議に出席した事務局職員

事務局長	湊和樹
事務局次長	若狹善友
主事	石川知里

5. 会議

（1）報告事項

- ①全国学力状況調査（概要）について
- ②男鹿潟上南秋地区中学校教科用図書採択について
- ③東北六県市町村教育委員会連合会「論集」原稿について
- ④井川さくら塾受講者の感想について
- ⑤教育委員会・公民館・学校関係行事予定について

（3）その他

6. 会議の経過

事務局長 今定例会の議事録署名員に小武海委員、遠藤委員を提案。

（全員提案を了承）

進行を教育長に求める。

教育長 報告事項に入る。全国学力状況調査（概要）について説明する。

（学力調査の結果は 6 年、9 年ともに良好であった。個々の結果については別途学力向上協議会にて説明する。）

教育長 男鹿潟上南秋地区中学校教科用図書採択について事務局から説明を

求める。

事務局長
教育長

(採択結果について説明)
東北六県市町村教育委員会連合会「論集」原稿について説明をする。(別途資料のとおり「少子化に抗する豊かな学びを」という題目で原稿を寄稿している。)

教育長
事務局長

井川さくら塾受講者の感想について事務局に説明を求める。
(参加した児童生徒にアンケート調査を実施しており、また参加したいかどうかの問いに対して7割が「参加したい」と回答していた。好評だったのではないかと感じている。)

委員

感想についてぜひ見てみたい。また、講師の方々が井川の子どもたちにどんな印象を持ったのか気になる。何か話を聞いていたら教えてほしい。

事務局長

講師の方々からも報告をいただいております、個人の学力の差が大きいことや、積極的に挙手する子とそうでない子がいたが、4日間で消極的だった子も挙手できるようになったなどの記載があった。

教育長

次回の教育委員会で感想をまとめて報告したい。

委員

どのくらいのお金がかかったのか。

事務局長

年間で、講師の交通費や子どもたちへの資料代も含めて150万円ほどである。

委員

テキストは学年ごとに一緒なのか。

事務局長

基礎・応用コースごとに一緒のテキストを使用していた。

委員

やはり個人差があるようで、ついていけない子にとっては内容が難しいようだった。簡単な問題からできるようにするなど、子どもによって進捗を変えられるようにしたらいいのではないかと感じた。

教育長

教育委員会・公民館・学校関係行事予定について事務局に説明を求める。

事務局長

(教育委員会・公民館・学校関係行事予定について説明)

ほかに無い旨を確認し、終了とする。

